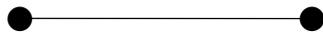


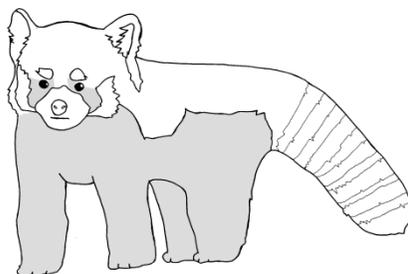
# 線で結んでみよう！（解説者用）

① あらいぐま



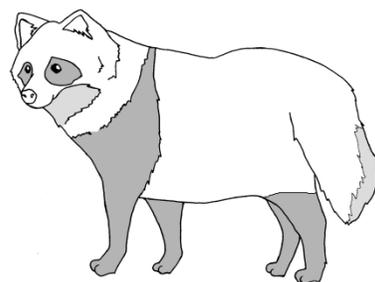
元々、アメリカ・カナダ原産で、日本にも移入し、外来種として定着しています。雑食性で、ザリガニ・カエル・昆虫・魚などを食べます。足は白っぽく、尾には黒いしま模様があります。前足の長い指を使って、水中の動物も器用に捕らえることができます。

② たぬき



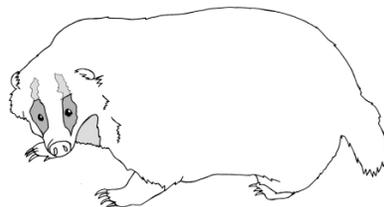
中国南部の山林や森林に生息します。主に、笹の葉やタケノコを食べます。お腹は黒い毛で覆われ、尾にはしま模様があります。樹上にいると、お腹の黒色が保護色となり、地上の捕食者に見つかりにくいと言われています。

③ あなぐま



日本の固有種で、本州や九州の林や山里に多く、人家の庭にも出没します。雑食性で、果実・ネズミ・鳥・昆虫などを食べます。手足と目の周り、耳の縁が黒いのが特徴です。しっぽは長いですが、しま模様はありません。

④ れっさーぱんだ



本州から九州の森林に巣穴を掘って生活します。雑食性でミミズ・カエル・昆虫・果実などを食べます。目の周りが黒く、足が短めでがっしりしているのが特徴です。秋にたくさん食べて太り、冬ごもりをします。

見た目は似ているけれど、みんな違います。